

Narromine News 2010

Narenkai

WinterSession

NSW Instructor Course

Shinzo in Japan

Australian National Team Camp.

知花理江子さんReport

Australian Junior National

Ryouji,Katsunori Report

2010, 9, 6 某大学OB会「NARENKAI」レポート

今年で2回目を迎えた某大学恒例ナロマインOB会のレポートが届きました。

＝ 第二回NARENKAI報告＝

本年のNARENKAIの報告をさせていただきます。

「NARENKAI」とは、

25年間オーストラリアのライダーのメッカであるナロマイン(Narromine)に在住の1964年入部の滝沢信三さんの発案で、ナロマインで、ライダーに掛けていた情熱を思い起こしながら、「昼間は飛んで、夜は宴会」ということで、ナロマイン宴会の正式名称がNARENKAIです。



2009年9月に第一回目を行い、1964年入部の伊藤さん(ご夫妻)、1965年入部金関さん、1978年入部の岩楯(夫婦)の5名が参加しました。

そして、今年が第二回目となりました。第三回目は、2011年9月の予定です。

「第二回NARENKAI報告」

日時: 2010年8月18、19、20日

場所: 滝沢信三さん宅 & ナロマイン飛行場

参加者: 1976年入部 牧田さん、1978年入部岩楯(夫婦)

Day-1フライトの部



牧田さん、何と16年ぶりのグライダーでの飛行。後席岩楯、全席牧田さんと昔の牧田さんが教官になりたてのころと前後席逆のパターンで、ASK-21にてTake-off。天候は良いものの、ガストが多く、難しい離陸となりました。必死の(?)操縦の中、それでも、昔話をしながら曳航される程度のリラックス感で、無事に2,800ftで離脱。16年ぶりのフライトの後、昼食をとり更に2回のフライトを実施し、エアワークは完全に思い出された模様。急旋回切替しがきっかけで、昔の感触をつかみましたか?

岩楯の妻、アンナは、第一回NARENKAIで初めてグライダーに乗り、今回は、一年ぶりのフライトとなるが、次の春のソロ目指してフライトする決意で昨年に引き続き連続参加。信三教官の元どうなるか楽しみにしていたところ、急遽曳航機(PONY)が貸し出し中となってしまう、信三さんは、タグパイの役目に。誰が教官?岩楯(夫)が教官となり、一年ぶりのフライト。Day-1は3回フライトを行い、操舵要領、直線滑空まで実施。



この日は、2人で6発、総飛行時間1時間ちょっとで、無事に昼の部が終了。

Day-1 宴会の部

夕食は、海老チリが食べたいとの意見によりメニュー決定。なんと初日の夕食は中華となりました。アンナが買い出し、料理を担当しました。防衛大学の学生2名が練習にきており、夕食に参加。料理は、アンナが海老チリを作ったことないけど何とかなんと、言いながらの料理でしたが、ナロマインで購入したエビにチリソースを作り、なんとなく海老チリ完成。防衛大学の学生がフライパンで炊いたこれまた奇妙なごはんに掛けて、海老チリプレートご飯の完成。これがなんともおいしいご飯となりました。

ビールとワインと美味しいご飯、ありがとう！



Day-2フライトの部

この日は、Day-1よりも好条件が期待され、Soaringの期待を持ってランウェイに。まず、アンナの練習フライトを開始。雲量が多く、雲底が低かったため、雲の合間を縫ってOn-Top。グライダーから雲を下に見ての飛行も格別でした。ただし、アンナにとって、地平線が雲に隠れてしまい、練習には向いてないフライトでした。その後も、条件は好転せず、残念ながら、滞空できる条件とはならず、Day-1に引き続き2人で6発、やはり総飛行時間1時間ちょっとといったところのフライトでした。

Day-2宴会の部

寒いながらも、信三さん準備のT-boneにて、庭でBBQ。防大学生も肉のストックがあり、6人で3kg以上の肉をBBQ。寒いため、ビールはそれほど進みませんでしたが、肉はたっぷり食べました。ワインは、毎日2本調達して飲みきり。



Day-3フライトの部

5時間日中の天候に恵まれそうとの朝からの予報。アンナはASK-21で1時間のSoaring。牧田さんは、ニンバス-4にてShort X-Cのチャレンジと決定。

防大学生二名、先に5時間トライでTake-off。(結果は、3.5時間まで。)

昼を食べながら、準備を進め、先ずアンナがTake-off。2,400ft辺りで強いThermalに当たり離脱。一気に5,000ftまで上昇。その後、Thermal旋回の練習、直線滑空の練習と順調にフライトをし、ニンバス-4のTake-offを待つ体制に。ところが、アンナが気持ち悪くなり、ニンバスのTake-offまでに着陸。その後、ニンバスがTake-off。その後、40kmのShort X-Cを二往復し、2時間超えたところでLanding。飛んだという実感の残ったDay-3でした。

Day-3宴会の部

最後の晚餐は、やはりアンナ自慢のフィリピン料理(チキンアドボ)でした。Day-1の夜に既に作って、2日寝かしたチキンは、なかなかいい味になっており、好評でした。

「総括」

今回は、天候にも恵まれ、3日間全てフライトができ、おいしいご飯とビールとワインで、NARENKAI文字通り楽しみました。

来年は、9月のSilver Weekにて第三回NARENKAI実施の予定です。

=アンナのコメント

I'm Whilhelmina wife of Japanese name Naoki. We went twice of Australia to ride glider for gliding. Because of my husband Naoki, very much fond of gliding. In fact, every year he want to go to Australia for gliding. Anyway, for me, at first experience in gliding, with the courtesy of very professional glider, Shinzo-san. At first move in riding the glider, I'm very much afraid because of a small space and you are seated in a small capsule. And brings you to sky, my legs and hands brings to shaking, trembling in whole of my body. But once I am in there, in the clouds, sky, that I see everything down and calm my trembling body and I can feel the excitement that I am really flying and I'm just like a "BIRD" and I'm so happy.

So Naoki ask me if I want to learn how to fly the glider, I easily say yes.

So the last time going back to Australia and also my second to ride the glider. This time are with my Naoki, and I am very excited. And of course it's a challenge for me if I can really fly most of the time Naoki give me a chance to have the control of the glider. And I did and in fact most of the time Naoki give me a chance to have the control of the glider I'm the one controlling or maneuvering the glider. And it's a very challenging experience. I can feel the pumping of my heart, the excitement because in fact I'm flying like a bird, that I can see everything down. I can see mountains, farms, or oranges, cows, trees and even highway or road, cars, tracks etc.

All I can say is its just wonderful and for the first time in my life I feel being so "HIGH IN THE SKY" feels so "GREAT" inside my heart.

Thank you so much to Naoki and Shinzo for the great experience and I'm looking forward that I can fly alone the glider.

=岩楯のコメント

昨年の第一回NARENKAIにて、18年ぶりにGliderで飛んで、今は、日本で教官に復帰させてもらっております。昨年は、本当に体験フライトの時と同じ感動を得ました。体験フライトと違うところは、自分でコントロールしながらの感動であったことです。

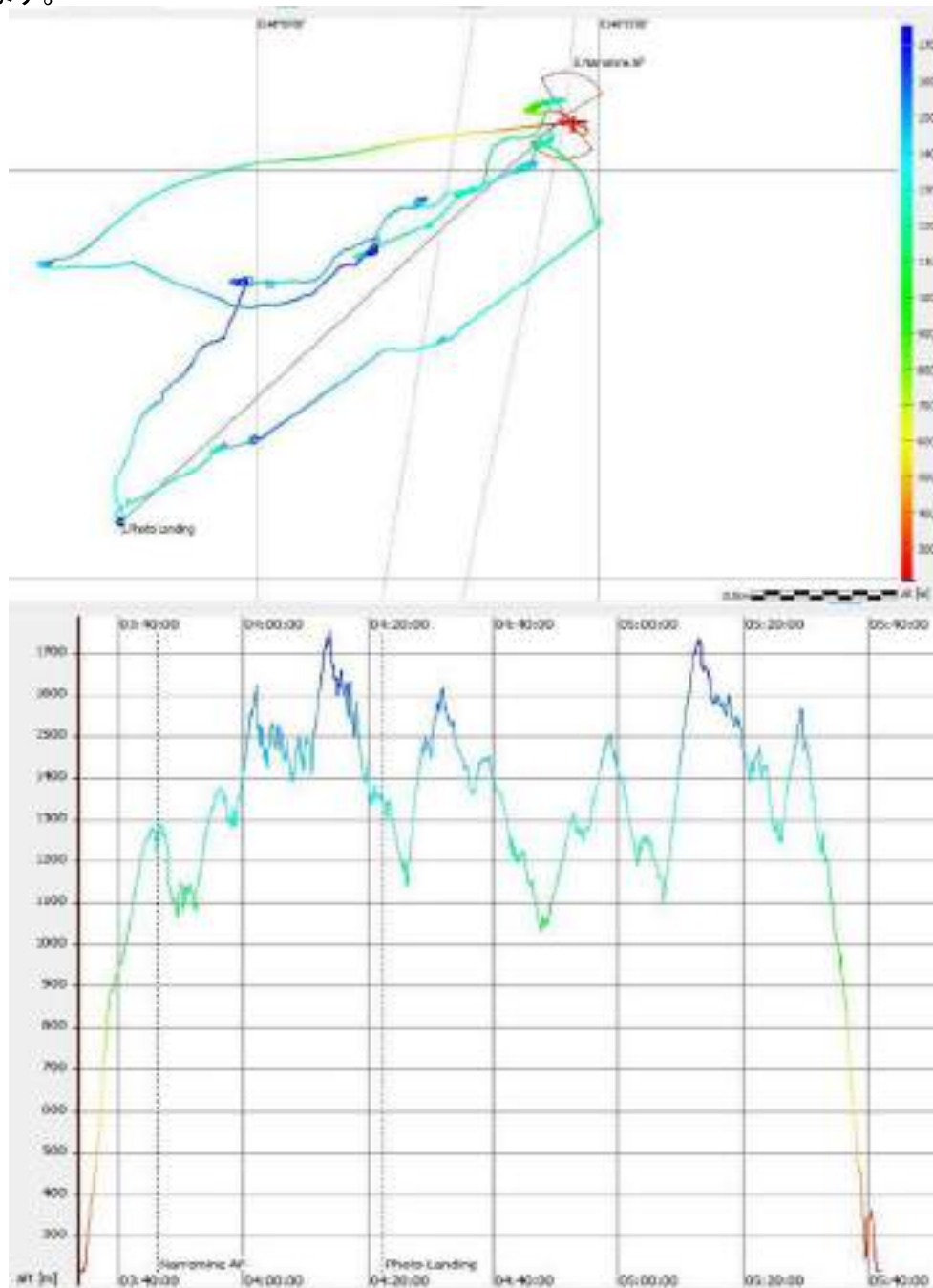
今回第二回NARENKAIに参加し、今度は、1991年にここNarromineで教官をしていた時のことを思い浮かべました。

信三さんに復帰のチャンスをもらいました。また、Narromineでプロとして飛んでみたいとも感じています。後輩の指導、安全に楽しく飛べるパイロットになってもらうため、今一度、自分自身にTASKを与え、飛んでみたいと思います。それにしても、妻に教官として飛ぶのは意外に難しかったです。ただ、幸せな時間を感じました。改めて、信三さん、ありがとうございました。

＝牧田のコメント

16年振りでした、グライダーの操縦桿を手にするのは、内心本当に上手く操縦できるのかしらと、やや不安も。

しかし、体が覚えていました。勿論、完璧とは言いませんが、自分の手足、頭、五感が遠い昔やっていた事を再現するかのようにはASK-21を操作してくれました。グライダーは一生物ですね。長くブランクが空いた人、仕事や家庭の事情等々でグライダーから長らく遠ざかった人、**恐れず復帰しませんか！**。今回のNarenkai は一言で言えば、自分に何故今まで遠ざかっていたの？ 馬鹿じゃないの、また空に戻りなさいと語りかけてくれたような気がします。そんな意味でNarromine, Narenkai, Shinzo-san, Naoki教官、皆さん、感謝、感謝です。おまけにNIMBUS4DMで約160km程のmini-xcも堪能出来ました。GPS FLT dataを添付しておきます。



20年前にNarromineでXC FLTをした時は地図とコンパスだけの地文航法でしたが、本当にGPS優れモノですね。お弁当箱のようだった携帯が今のスマートフォンに進化したように。なお、今後教官にも復帰出来るようにこちら九州でも活動をしようと考えています。

2010, 8, 10 Winter Session スタート

米国Texasの競技会より戻り、今年の「夏休み特別企画・Winter Session」をスタートさせました。いやはや時差ボケ感じる暇ありません。

今は皆 Hornet Astir3b ASK21でSoaringを楽しんでいます。
防大の学生たち アンドリュウ(Tug) Barry(Tug) Shinzo



2010, 6, 6 NSW州Instructor Course

日本では皆さんにお世話になりました。急遽オーストラリアに呼び戻され、NSW Instructor Courseで一仕事してナロメインに帰ってきました。1週間のCourseでLecture and Flightを朝から晩まで。A/TとWinchで難しいR/WのLake Keepitで1名の Level 1 Instructor, 3名の Level 2 Instructor が誕生しました。われわれグライダー活動がローカルからXCに発展し、それに伴いわれわれはルールの手直(ライセンス制度、トレーニング・シラバス、OPSマニュアル、Instructorマニュアル、Radio ライセンスとOPSルール等..)をCASAと共同で推進してきました。新制度をこの5月に発令し、今回がその後最初のInstructor Courseでした。私は唯一の Coach and Instructor なので、十二分に動きました。私の信念“Acheivement and Safety ARE same direction”を皆に伝える良い機会でした。Shinzo



2010, 5, 25 Shinzo in Sekiyado

GWは理科大・東工大対抗戦に参加。5月2日は理科大OB多数フライト会で応援。第1回は理科大の勝ち。Shinzo



2010, 5, 23 **Shinzo in Japan**

オーストラリアのシーズンオフにあたる4月～5月、Shinzoは一時帰国して関宿、妻沼、大利根、板倉と各地の滑空場を精力的に訪れました。写真は妻沼で法政大学の合宿に参加したときの様子です。Shinzoは休暇もやっぱりグライダー三昧です。





2010, 3, **Australian National Team Camp**
オーストラリア・ナショナル・チームの合宿がナロメインで行われました。Soar Narromineの
パイロット達と一緒にフライトを楽しみました。



2010, 3, 31 **QLD イースターコンペに行ってきます**



シーズン最後の写真おくります。明日からイースターコンペにChinchillaへ Discus 2aをひつぱり1週間の遠征です。Shinzo

2010, 3, 5 昨年の学生選手権者 知花理江子さんのNarromine Report

「今回の滞在は今までと違いました。純粋にグライダーのフライトというものを楽しむことができました。自分で計画してクロスカントリーに出かける自由さ。オーストラリアの大地を飛びサーマルを感じる喜び。300kmというのも自分で設定した自分の目標であり、誰かに与えられたものではありませんでした。フライトのすべてが自由に思えて、グライダーが本当に素敵な乗り物だと気づくことができました。だからこそ、やっと、ハッピーバレーのアウトランディングも、ほんとうにいい経験になったと、自分の中で吸収することができました。本当に素敵な時間をかさねがさねありがとうございました。自分のためのグライダーを飛べたことを幸せに思っています」知花理江子



Discus2aと私は絶対相性ばっちりだと思います！とってもかわいい機体でしたよ！

2010, 3, 5 Australian Junior National Report

「ちょっと遅い速報です。Junior NationalにWilly出場。大活躍&好成績。Japan Juniorにこんなに出来るヤツがいることをAustralia Juniorに見せつけた。日豪NZ交流。Shinzoはオーガナイザーとして毎朝ウエザーブリーフィング、オーストラリア・コーチとして毎日選手の卵とDuoでアドバンストレーニング。

写真右から今回の優勝者ネーサン(次回ワールド出場)とWilly、Shinzo。
ネーサンの飛行時間はWillyの4倍 成績は Willyの1.1倍 プラボー！」Shinzo



2010, 2, 21 Flying Report from Ryouji

今月ナロマインで飛ばれた森良治さんからメッセージと写真が届きました。Ryoujiさん、5Hoursおめでとうございます。この写真はアラフォーならぬアラ65の皆さんだそうです(含Shinzo・このグループでは若手とか..)。



お蔭様で14日に無事成田空港に帰朝致しました。フライトチェックを受けて3日目に5Hrを達成することが出来ました。その日の夕食は皆さんからのお祝いで美味しいお酒を戴くことが出来ました。その時の写真を添付させて頂きます。(厚かましいのですが) 因みに写真の左から森、後藤氏、滝沢さん、赤谷氏です。最初に行ってこのような収穫を頂き感激です。次回からは又この上狙いが出来ればと妄想しております。有難う御座いました。

2010, 1, 29 Flying Report from Katsunori

年末年始ナロマインで楽しまれたKatsunoriさんがレポートを送ってくれました。私たち(井手尾)夫婦の機体・ASW20B(VH-GYM)で楽しんでいただけたようで嬉しいです。Katsunoriさん、ありがとうございます。



UP・DuoDiscusと並んで飛ぶ(機体はPI)

Katsunori「このところ「PI・Ventus b」一本でしたが、久しぶりに飛んだ「GYM・ASW20B」は思いがけない発見でした。翼が柔らかくて快適な乗り心地。操縦棒のグリップにあるトリム・ノブもVentus(シェンプの機体)より操作性がよくて旋回ノクルージング相互の移行がピタリと決まり、調子が出て90ノットでびゅんびゅん飛ばしてしまいました。DuoDiscusと一緒に飛んでみると本当に高速域では性能が勝っており、さすがフラップ(ASW20は名機＝現役!!!)と思いました。

4日目の12月23日はForbesまで行ってきましたが、帰りはParkesの少し北の90kmポイントからナロマインまで旋回なし、なんていう飛び方もできて大満足でした。」

2010, 1, 4 あけましておめでとうございます

真夏のオーストラリアから新年のご挨拶を申し上げます。

ナロマインを訪れてくださるパイロットの皆さん、フライトがうまいだけでなくオペレーションを盛り立ててくれます。ありがたいことです。

Shinzo Takizawa

